

# 建学の精神とキリスト教 -53

## 「新島襄・同志社・キリスト教の基礎」

同志社大学神学部 教授 小原克博

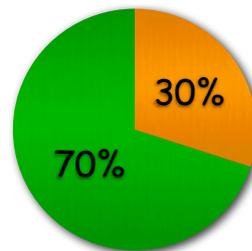
## 同志社科目とは？

- 同志社科目
  - 同志社大学は日本におけるキリスト教主義大学の代表であるばかりでなく、全国の数ある大学のなかでもっとも歴史のある大学のひとつです。1875年に新島襄が多数の協力者のサポートを受けて「同志社英学校」（男子校）を創立して以来、日本の近代史の中に大勢の有為な人材を送り出してきました。この科目では、同志社がどういう経緯で、どういう人々により、また何を目的として創立されたかを学びます。

## 同志社科目の構成

- 基礎科目
  - 建学の精神の基本を学ぶ入門科目
- 展開科目
  - 建学の精神を詳しく学ぶ発展的な科目
- 関連科目
  - 建学の精神に広く関連する科目で、キリスト教思想の根本や歴史などをより専門的に学ぶ科目を含む

## 成績評価



- 出席による評価
- 学期末試験による評価

## 参考文献（テキスト）

- 本井康博『新島襄と建学精神——「同志社科目」テキスト』、2005年（定価500円）。
- 生協書籍部で販売中。



## 参考文献

- 同志社編『新島襄自伝——手記・紀行文・日記』2013年（岩波文庫）
- 教育者として、キリスト教伝道者として——日本初の私立大学設立を目指した新島襄（1843-90）は、青年時代に鎖国令を犯して函館から密出国し、19世紀後半のアメリカを中心に異文化の清新な空気にふれて、文明開化期の日本に帰国した。その後、病気と闘いながら、教育とキリスト教伝道を通じて日本の近代化に挺身した新島の波瀾に富んだ生涯を、残された自筆の記録により跡づける。



## 参考文献（マンガ）

- 能田 茂 (著), 本井 康博 (監修) 『マンガで読む新島襄——自由への旅立ち』 同志社大学、2008年。



## 参考ウェブサイト

- 新島遺品庫
  - <http://joseph.doshisha.ac.jp/ihinko/>
- Neesima Room
  - <http://archives.doshisha.ac.jp/neesimaroom/neesimaroom.html>



## 【重要】 授業用ページ

- 小原克博 On-line [www.kohara.ac](http://www.kohara.ac)
  - Education → 講義概要・シラバス
  - 建学の精神とキリスト教-53
- 学期中はブックマークして毎週チェック

## なぜ「建学の精神」を学ぶのか

- 建学の精神：同志社のアイデンティティ
  - 新島襄とキリスト教
- 「わたし」のアイデンティティの形成
- すぐれたアイデンティティとの相互作用によって、より豊かなものになっていく。

## 新島 襄の言葉（『片鱗集』より）

我が校の門をくぐりたるものは、政治家になるもよし、宗教家になるもよし、教育家になるもよし、文学者になるもよし。少々角あるも可。気骨あるも可。

ただかの優柔不断にして安逸をむさぼり、いやしくも姑息の計をなすがごとき軟骨漢には決してならぬこと。

これ予の切に望み、ひとえに願うところなり。